

トートロジーと主観性について

阿部宏（東北大学大学院）

hrshabe@sal.tohoku.ac.jp

0. 「XはXだ」型トートロジーの多義性
 - 1) ○【差異化】子供や孫が勢揃いしてこそ、正月は正月だ。（＝正月らしい正月）
 - 2) ○【同質化】酒も餅もなくとも、正月は正月だ。（＝正月であることに変わりはない）
 - 3) ○【実現要請】今から鯛や数の子を買揃えておけ。？正月は正月だ。（＝正月らしくするべきだ）
 - 4) 【並列】仕事は仕事。正月は正月。（＝仕事があるが、正月なのでゆっくり休むことにする）
 - 5) 【説明拒否】（「正月って何？」と外国人から聞かれたが、説明が面倒くさいので）正月は正月だ。
 - 6) 【譲歩】いちおう正月は正月だが、風邪で寝込んでいて、何もめでたくないよ。
 - 7) 【禅】これらの公案は新しい有意味性の地平を開示する。…「山は山，水是水」。無数のものたちが親しげな顔をのぞかせる。駘蕩たる万物の春，禅ではこれを人境俱不奪の境地と言う。（井筒俊彦：『意識と本質』，岩波文庫，pp. 367-368）
 - 8) 【成句】何か起こったら，そのときはそのときだ。／時間が時間だから，そろそろ帰るよ。／年も年だし，そろそろ引退しようと思うんだ。／ダメなものはダメ。／彼は，家が家だから，遊んで暮らせるんだ。／親が親なら，子供も子供だ。
1. 先行研究
 - 9) 【会話の含意】War is war : terrible things always happen in war, that's its nature and it's no good lamenting that particular disaster. (Levinson, 樋口 1988: 169)
 - 10) 【各国語内の意味論】War is war. / Politics is politics. / Business is business. : Nabstr is Nabstr ('SOBER' ATTITUDE); cf. A war is a war. / A promise is a promise. / A father is a father. : (ART) N is (ART) N (OBLIGATION). (Wierzbicka 1987: 105)
 - 11) 【言語内論証理論】ネズミをとらなくてもネコはネコだ。：「（論拠）ネズミをとらないネコだ」から【（結論）飼わない】，しかし「（論拠）ネコだ」から【（結論）飼う】（大久保 2000: 36）；Une voiture hybride est toujours une voiture.（ハイブリッド車は，やはり車だ。）：Une voiture hybride 【donc NEG pollution】，mais une voiture 【donc pollution】（「（論拠）ハイブリッド車だ」から【（結論）大気汚染がない】，しかしやはり「（論拠）車だ」から【（結論）大気汚染がある】）（Okubo 2004: 175）
2. プロトタイプ意味論（藤田 1988, 1990, 1993；坂原 1993, 2002）
 - 12) 【差異化タイプ】この家のように，8 部屋以上あってこそ，家は家だ。／ネズミを捕る時だけ，ネコはネコだ。
 - 13) 集合 X（＝家の集合，ネコの集合）の中に，任意の特徴 P（＝8 部屋以上，ネズミを捕る）をもった下位集合を構成し，これこそが真の X であると主張する働き。
 - 14) 【同質化タイプ】狭くとも庭は庭だ。欠点はあっても，友だちは友だちだ。
 - 15) 任意の特徴 P（＝面積，欠点）によって，メンバー間に差異が生じそうになった集合 X（＝庭の集合，友だちの集合）について，実はそのような差異はないことを主張する。

3. 「望ましき」判断

- 16) If you eat spinach [DESIRABLE], you'll be strong [DESIRABLE]. (赤塚・坪本 1998: 17)
- 17) If you don't eat spinach [UNDESIRABLE], I'll spank you [UNDESIRABLE]. (赤塚・坪本 1998: 17)
- 18) あの店のランチは安くて [プラス評価], おまけにボリュームがある [プラス評価]. (森田 2006: 20-21)
- 19) 警察でさんざんしぼられて [マイナス評価], おまけに罰金まで取られた [マイナス評価]. (森田 2006: 20-21)
- 20) ? あの人は小説家で [?評価], おまけに政治家です [?評価]. (森田 2006: 20-21)
- 21) 多少体の弱い人 [望ましくなさ]の方が, 人の気持ちはよくわかる [望ましき]. (阿部 2006b)
- 22) 多少礼儀正しく [望ましき]ても, 本当にいい社員とはかぎりません [望ましくなさ]. (阿部 2006b)
- 23) 本日の最高気温 35 度 (阿部 2007b)
- 24) 海は最高! / 夏は最高!・今夜は最高! (花火の詰め合わせのタイトル) (阿部 2007b)
- 25) 最高の傑作 / ? 最高の駄作【傑作・駄作の程度の極限+望ましきの極限】 (阿部 2007b)
- 26) (駄作のコレクションをしている人が) ついに最高の駄作を見つけたよ! (阿部 2007b)
- 27) 思うに, コンビニという空間は, 徹頭徹尾「ものを買う」ための施設であって, それ以上でも以下でもない. けっして人が集まるための集会所のような機能を備えているのではないのである. (阿部 2002: 152)
- 28) フランス語: plus ou moins (= more or less) (Abé 2003), qui plus est (= what is more) (阿部 2005), トートロジー (阿部 2006a, 2006c), au moins (= at least) (阿部 2006d)
- 29) 「望ましき」は, 任意の文や表現に関する漠然とした印象といった受け手側の解釈レベルの現象ではなく, 明確に確立されるべき文法概念である. これは, 任意の事態に対する「望ましい」あるいは「望ましくない」という話し手の主観的判断であり, 尺度化されて機能することも多い. また, 通範疇的に確認されることから, 従来のモダリティ研究においていわれてきた「真実性」と同様に, 文法体系や語彙体系よりも深い層, つまり認知レベルに仮定されるべき働きである. (cf. Abé 2006: 213)

4. 差異化タイプ

- 30) 全勝で勝った時だけ, 優勝は優勝だ. 【=望ましい優勝】
- 31) 常に国民のことを考える政治家が政治家だ. 【=望ましい政治家】
- 32) * 1 週間以上入院した時だけ, ケガはケガだ. 【=望ましいケガ】
- 33) * 常に利権を漁る政治家が政治家だ. 【=望ましい政治家】
- 34) 季節毎の花がいつも咲いていてこそ庭は庭だ. # でも, 僕は花も何もない土と砂だけの庭が好きだ.
- 35) 泥棒に勇敢に噛みついていくようなイヌがイヌだ. # でも, 僕はおとなしいイヌの方が好きだ.
- 36) 明治の時代, 男が男だった時代 / * 明治の時代, 女が女だった時代
- 37) 男が男であった, 女が女であった - 時代とは. 愛とは. ... 激動の昭和の時代に, 男が男として, 女が女として生きた姿を描いた超大作. (映画『動乱』, 2006, DVD のラベル)
- 38) 山形, 蕎麦が蕎麦である町
- 39) 30 年前の俺らの頃, 不良は不良だった. 【=今の不良と違って, それなりのモラルを持っていた】
- 40) こういう営業マンが営業マンなのだ.
- 41) * ロが巧いだけのこういう営業マンが営業マンなのだ. (荒川恒治氏による)
- 42) 残念ながら, 今の時代, ロが巧いだけのこういう営業マンが営業マンなのだ.
- 43) 集合 X の中に「望ましい」下位集合を構成する働き. 特徴 P は不可欠なものではない. きわめて曖昧なものであれ, また特に「望ましき」のないものであれ, 集合 X に何らかの限定さえ行われれば, 自動的に「望ましい」下位集合が構成される. P が明確に「望ましくない」もの場合は, 「望ましい」ものとして構成された下位集合と矛盾して, 文は不自然になる.

5. 同質化タイプ

- 44) ネズミを捕らなくても、ネコはネコだ。(坂原 2002: 113)
- 45) 一円でも盗みは盗み、コンビニで携帯に無断充電の少年送検。(YOMIURI ONLINE, 2007 年 9 月 19 日)
- 46) 買ったものといえば EMT の 930ST オリジナル・プレーヤー。これがなんと二十万円という安さなのだ。イコライザーもサスペンションもないが、そんなものなくたって EMT は EMT。一生に一度は持ちたいと願っていたから二十万という数字はたとえ主催者に十五%の手料を払っても安価と言わなければならない。ホクホクの毎日である。(寺島靖国(2001):『JAZZ オーディオ悶絶桃源郷』, 河出書房新社, p. 168)
- 47) (ソ連崩壊後のロシアで、煙草のマルボロが通貨と同じような機能を果たした一時期があった) それで、私も、ポーランドとかチェコに行ったときは、安いマルボロを現地生産で作っているんで、そのマルボロを結構たくさん買ってきました。アメリカで作っているマルボロだろうが、イギリスだろうが日本だろうがチェコだろうが、マルボロはマルボロなんです。それがパチンコの景品のような働きをするんですよ。(佐藤優(2006):『国家の崩壊』, にんげん出版, p. 208)
- 48) マイルスの水銀のようなトランペットがヒップポップのリズムにのって躍動し、憂いを帯び、はるか彼方をめざして鳴り響く。マイルスは(このアルバム「ドゥー・バップ」で)最後まで、“マイルス・デイヴィス”だった。(中山康樹(2007):『最後のジャズ入門』, 幻冬舎新書, p. 157)
- 49) 僕の生まれ育った町はすっかり寂れてしまった。しかし、故郷は故郷だ。【望ましき低下→元の程度に復帰】
- 50) (酒を受けつけない人が)いくらアルコール度数が低くても、酒は酒だ。【望ましくなさ緩和→元の程度に復帰】
- 51) 1分でも、映画出演は映画出演だ。【望ましき低下→元の程度に復帰】
- 52) 1分でも、遅刻は遅刻だ。【望ましくなさ緩和→元の程度に復帰】
- 53) ? 1分でも、授業は授業だ。
- 54) (1分だけ講義をして帰ろうとした教授が、手抜きを学生に非難されて)「1分でも、授業は授業だ。ただ、事務にはいうなよ。」【望ましき低下→元の程度に復帰】
- 55) (勉強が嫌いになり登校拒否になった大学生が、出席をとる最初の1分間だけでも出ればいいじゃないか、と友だちにいわれて)「1分でも、授業は授業だ。とても耐えられないよ。」【望ましくなさ緩和→元の程度に復帰】
- 56) (乞食をして暮らしている貧乏だが才能のある画家と結婚するつमोरの娘とその父親との会話)「(父) 乞食は乞食だ!」—「(娘) 画家は画家よ!」
- 57) (泥棒と親しくつきあっている息子とその父親との会話)「(父) あんな奴と会うな!」—「(息子) 友だちは友だちだ!」—「(父) 泥棒は泥棒だ!」
- 58) 「半過去を俯瞰する: “期間限定” から “愛情表現” まで—半過去は常に半過去である—」(日本フランス語学会シンポジウム「半過去をめぐって」(2006 年 12 月 16 日開催) パネリスト西村牧夫氏のハンドアウト・タイトル)
- 59) つまり、これが意味しているのは、このレベルの透視者にとって、ハンバーガーショップはハンバーガーショップなのです。ハンバーガーショップごとの違いはまだこの段階では捉えられていません。皆さんもおわかりになると思います。(ジョー・マクモニーグル(2006):『マインドトレック - 遠隔透視の全貌』, 中央アート出版社, pp. 87-88)
- 60) 量子論は最初から、観測者の自己同一性がもはや成り立たないと語っていたのである。しかし初期の量子論学者は、無意識ながらそれを拒絶した。自分は自分だ。それが波のような存在で、しかもどんどん分岐して複数の世界に分かれているいくなど、一体どうして信じられようか。(佐々木閑(2006):『犀の角たち』, 大蔵出版, p. 62.)
- 61) いまの経済学の考え方では、需要の性質はまったく区別しない(できない)。無駄な浪費でも、本当に必要な消費でも、百円は百円。それでいいのかな?(山形浩生(2007):『新教養主義宣言』,

河出文庫, p. 118)

- 62) メンバー間の性質において差異が生じそうになった集合 X について, 実はそのような差異はないことを主張する. 特徴 P が差異化に無力であることが示されれば, 自動的にこの解釈になるが, これは不可欠ではなく, 非差異化の可能性が暗示されるだけでもよい. また, 差異化の否定は, 「望ましさ」の程度変化の否定を伴うことが多い.

6. 実現要請タイプ

- 63) 約束は約束だ. / 法律は法律だ. / 公約は公約だ.
64) (各地の高校で卒業必修科目が教えられていなかったことについて) ルールはルール. 守ってもらわなければならない. (塩崎官房長官の談話, 2006 年 10 月 25 日)
65) (競走馬・ディーピンパクトの薬物疑惑について) ディーピンパクトの関係者側には言い分もあるようだが, 決まりは決まり. 知らなかったとか, 分からなかったでは済まない. (漫画家・倉田真由美氏の談話, 2006 年 11 月 16 日)
66) 新しい型の大学なので設置基準も従来のものと混同されている点がいくつかあるが, 法は法であるので従うことにしている. (吉村治作:「さらば早稲田」, 『文藝春秋』, 2006 年 6 月号, p. 88.)
67) (首相経験者が現職首相に) 君はこの国のすべてに責任を負わなければならない. 総理は総理だ.
68) (先生が叱って) 廊下でスケボーとかやってちゃダメだ. ? 学校は学校だ.
69) たくさん勉強しなければならない. ? 学生は学生だ. (cf. Il faut beaucoup travailler. Un étudiant est un étudiant.) (阿部 2006a)
70) 少し金くれよ. * 友だちは友だちだ. (cf. Tu me donneras un peu d'argent. Un ami est un ami.) (阿部 2006a)
71) わが軍は海外で捕らわれた市民を救出に行かななければならない. ? 国家は国家だ. (cf. Notre armée doit aller sauver des citoyens prisonniers à l'étranger. Un pays est un pays.) (阿部 2006a)
72) ? (喝を入れる) 海軍軍人は海軍軍人なんだ. / ? (親方が説教をして) 横綱は横綱なんだ.
73) * (喝を入れる) 金魚屋は金魚屋なんだ. / * (先生が説教をして) 小学生は小学生なんだ.
74) * (説教をして) ネコはネコなんだ. (=ネコなんだから, きちんとネズミを捕るべきだ.)
75) 集合 X は本来的な形で成立されるべきだ, と主張する働き. したがって, 義務や倫理を含意する語彙と親和性がある.

7. 矛盾文, 自明文など

- 76) こんなボロい車は, 車じゃない.
77) (ペット化されたネコ以外受け入れられない話し手) ネズミを捕るネコなんて, ネコじゃない. (仏文, 大久保 2000: 49)
78) (悪路走行などの愛好家) 快適な車なんて車じゃない. (仏文, 大久保 2000: 49)
79) (車に厳しい判断基準を持つ話し手) どこにでもあるような車なんて, 車じゃない. (仏文, 大久保 2000: 49)
80) ここでは人は人ではない. それは芸術家である. ここでは石は石ではなく, 木は木ではない. すべてが神秘的で謎である. (仏文, 酒井 2005) / このロボットは, もはやロボットではない.
81) これこそ酒だ! / これが音楽だ! / 「俺は男だ!」(森田健作・主演ドラマ) / You are the man! (映画 Red Planet, 2000)
82) 学校は勉強をするところです. / 痴漢は犯罪です. (大久保朝憲氏による)
83) 酒の中の酒, 本醸造「澤姫」(栃木県の酒) / 男の中の男
84) * 犯罪者の中の犯罪者
85) ワルの中のワル【=ワルへの尊敬】/ 泥棒の中の泥棒, アルセーヌ・ルパン (野呂健一氏による)

8. 主観性

- 86) 詞は「山」「川」「犬」「馬」「喜び」「悲しみ」等の様に、客観的なもの、主観的なものの一切を客体化して表現するのであるが、それのみを以てしては思想内容の一部しか表現し得ない。これに対して、辞は、これ亦主体的なものしか表現出来ないのであって、具体的な思想は常に主客の合一した世界であるから、詞辞の結合によって始めて具体的な思想を表現することが出来るのである。そしてその意味的連関は上に述べた様に、次元を異にし、包むものと包まれるものの関係にあるのである。(時枝 1941, 2007 上: 268)
- 87) ことばは、主体性の表現があまりにも深く刻印されているため、かりに構成の仕方がそのようなものではなかったものとすれば、はたしてなおことばとして機能し、ことばと呼ばれうるかどうか疑わしいほどである。われわれが問題にしているのは、ことばであって、単に個々の言語のことを言っているのではない。しかし個々の言語の事実も、互いに一致して、ことばに有利な証言を提供している。(バンヴェニスト 1966, 1983: 245.)
- 88) 'subjectification' refers to a pragmatic-semantic process whereby 'meanings become increasingly based in the speaker's subjective belief state / attitude toward the proposition', in other words, towards what the speaker is talking about. ... 'Subjectification in grammaticalisation' is, broadly speaking, the development of a grammatically identifiable expression of speaker belief or speaker attitude to what is said. (Traugott 1995: 31-32)
- 89) 「文は思考伝達のためのもっとも単純な形態である。思考すること、それはある表象に対して、それを確認したり、評価したり、願望したりしながら、それに反応することである。それゆえ、それは、あることがらが存在するかそうでないかを判断すること、それが望ましいかそうでないかを測ること、それが存在するあるいは存在しないことを望むこと、である。(Bally 1932, 1965: 35)」
- 90) 彼(=Charles Bally)によれば、思考のもっとも基本的なあり方は、ことがらの「真実／非真実」の判断、「望ましき／望ましくなさ」の判定、「実現／非実現」の祈願、ということになるだろうが、これは文法化が進み、主観化が極限にまで進行していった果ての姿ではなからうか？(阿部 2007b)

9. 結論

差異化タイプにおいては、もっぱら「望ましき」判断が機能する。同質化タイプにおいても、性質の差異は「望ましき」の差異をも伴うことが多い。実現要請タイプは、事態の実現へ向けての相手への働きかけである。トートロジーは、情報量ゼロという点で、矛盾文、自明文などと同様に表面的にはナンセンスな文であるが、その機能は、あえて情報量をなくすことで、ふだんは目立たない主観性の働きを直裁に表わすことにある。

「参考文献」

- 阿部宏 (2002): 「成句「以上でも以下でもない」と尺度」, 『東北大学文学研究科研究年報』第 52 号, pp. 158-148.
- Abé, Hiroshi (2003): A propos de polysémie de la locution “plus ou moins”. *Las actas del XXIII Congreso Internacional de Lingüística y Filología Románica*, Volumen III, Niemeyer, Tübingen, pp. 3-10.
- 阿部宏 (2005): 「言語における尺度の主観化について -熟語 *qui plus est* を中心に-」, 『フランス語学研究的の現在 -木下教授喜寿記念論文集-』, 白水社, pp. 197-216.
- Abé, Hiroshi (2006): A propos de la notion de “désirabilité” dans le langage. *Cognition et émotion dans le langage*, Center for Integrated Research on the Mind, Keio University, Tokyo, pp. 207-222.
- 阿部宏 (2006a): 「トートロジーについて」, 日本フランス語学会第 231 回例会ハンドアウト, <http://www.sal.tohoku.ac.jp/French/document/TautologieHO.pdf>.

- 阿部宏 (2006b): 「熟語「多少」と主体化について」, 『日本認知言語学会論文集』第6巻, pp. 54-63.
- 阿部宏 (2006c): 「フランス語の心の声 I. トートロジー」, 『ふらんす』(白水社), 2006年8月号, pp. 18-19.
- 阿部宏 (2006d): 「フランス語の心の声 IV. *au moins, du moins, encore moins*」, 『ふらんす』(白水社), 2006年11月号, pp. 18-19.
- 阿部宏 (2007a): 「ソーシャルが言わなかった大きな二つのこと」, 『ソーシャルとテキストの科学』, 「統合テキスト科学の構築」第9回国際研究集会報告書, 名古屋大学大学院文学研究科, pp. 87-98.
- 阿部宏 (2007b): 「比較文法を批判してソーシャルが考えたこと」, 『思想』(岩波書店), 11月号(印刷中).
- Akatsuka, Noriko (1997): Negative conditionality, subjectification, and conditional reasoning. *On Conditionals Again*, John Benjamins Publishing Company, Amsterdam / Philadelphia, pp. 323-354.
- バンヴェニスト, E. (1966, 1983): 『一般言語学の諸問題』(河村正夫他訳), みすず書房.
- 有光奈美 (2006): 「"half"は「半分」か? - 量から質への認知的動機付けについて」, 『日本認知言語学会第7回大会 COFERENCE HANDBOOK』, pp. 144-147.
- Bally, Charles (1932, 1965): *Linguistique générale et linguistique française*, Editions Francke.
- 樋口万里子 (1988): 「トートロジーの意味理解」, 『活水論文集』第31集, 英米文学・英語学編, pp. 167-186.
- 藤田知子 (1988): 「Une femme est une femme - X ÊTRE X 構文解釈の試み」, 『フランス語学研究』(日本フランス語学会) 第22号, pp. 15-34.
- 藤田知子 (1990): 「X ÊTRE X 構文再考」, 『神田外語大学紀要』第2号, pp. 115-133.
- 藤田知子 (1993): 「X ÊTRE X 構文, 第三考」, 『神田外語大学紀要』第5号, pp. 91-109.
- 野呂健一 (2006): 「構文文法からのアプローチによる同語反復表現の考察 -「X らしい X」を中心に-」, 『日本認知言語学会第7回大会 COFERENCE HANDBOOK』, pp. 270-273.
- 大久保朝憲 (2000): 「「矛盾文」の発話機能」, 『仏語仏文学』(関西大学フランス語フランス文学会) 第27号, pp. 47-61.
- Okubo, Tomonori (2004): Discours truistes et discours extrémistes - polyphonie entre sujet et prédicat, *Dialogisme et nomination*, Praxiling Université Paul-Valéry, pp. 171-180.
- 坂原茂 (2002): 「トートロジーとカテゴリ化のダイナミズム」, 『認知言語学 II: カテゴリ化』(大堀壽夫編), シリーズ言語科学3, 東京大学出版会, pp. 105-134.
- 坂原茂 (1993): 「トートロジーについて」, 『東京大学・外国語科学研究紀要・フランス語教室論文集』第40巻第2号, pp. 57-83.
- 時枝誠記 (1941, 2007): 『国語学原論』(全2冊), 岩波文庫.
- Traugott, Elizabeth Cross (1955): Subjectification in grammaticalisation, *Subjectivity and subjectivisation, Linguistic Perspective* (Edited by D. Stein & S. Wright), Cambridge, Cambridge University Press, pp. 31-54.
- 中村芳久 (2000): 「「勝ち」は勝ち」「負け」は負け」 - トートロジーに潜む認知的否定」, 『月刊・言語』(大修館書店), 2000年11月号, pp. 71-76.
- 酒井智宏 (2005): 「矛盾文と条件文の解釈スキーマ」, 日本フランス語フランス文学会秋季大会(於新潟大学)発表ハンドアウト.
- 酒井智宏 (2006): 「差異否定型トートロジー」, 『認知言語学論考』, No. 5, ひつじ書房, pp. 119-144.
- Wierzbicka, Anna (1987): Boys will be boys, 'Radical Semantics' vs. 'Radical Pragmatics'. *Language*, Volume 63, Number 1, pp. 95-114.